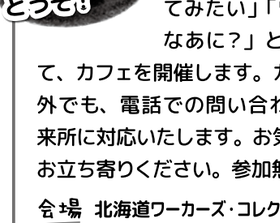
理事会より

報告 ワーカーズ・コレクティブ 経営研修を開催しました

数字から事業を考え、経営力向上につながることを目的に、会員全体対象の経営研修を開催しました。起業カフェの来場者含め、起業を考えている一般市民にも対象を広げて、当日は 24 名の参加がありました。

研修の内容は例年同様、財務諸表を基に事業をする上でのお金の流れに加え、今年度は 2022 年 4 月に施行される電子帳簿保存法の改定についてと、2023 年 10 月から導入される消費税の仕入れ税額控除の方式として「インボイス制度」について、資料を基に説明がありました。最後に、会計をする上で知りたかったことや研修内容の質問など、講師に直接聞く時間を取りました。



カナモトホール会議室（12/ 1）

Zoom のホストになるための パソコン研修を行いました

12 月 11 日、教育文化会館にてオンラインの技術向上につながる研修を行いました。コロナ禍での会議や研修を充実させることが目的です。

24 名の参加者は、各自スマホやノートパソコンを持ちこみ、講師の小倉健一さんからホストの役割や、会議のスケジュールの作成、招待メールの送り方、会議の進行などを簡潔に学びました。参加者からは、「Zoom の招待のしかたが分かりました。ぜひやってみたいと思います！」「使ったことの無い Zoom の機能を学べて良かったです」「初めて Zoom を体験しましたが、ホストができそうな気がします」などの声がありました。

第 15 回 ワーカーズ・コレクティブ 全国会議 in 神奈川

ワーカーズ・コレクティブ誕生 40 年

孤立や分断を協同の力でつなぎ 持続可能な地域社会をつくろう

2 月 19～20 日、かながわ労働プラザにて全国会議が開催されました。全国から約 1,100 人がつながり、北海道からも 131 人が参加しました。

1日目は 6 つの分科会。北海道からは子育て支援ワーカーズ べりぃべりぃが活動報告をしました。2日目午前は3つの自主企画、午後は全体会が行われました。全体会の基調講演は『人新世の「資本論」』著者の斎藤幸平さんで、「コロナ禍は今後繰り返すであろう慢性的な大きな危機のリハーサルに過ぎない。行き過ぎた資本主義を改め脱成長をめざす道は、過剰な成長を削りエッセンシャルワークへ転換していくこと。協同組合が NPO や NGO、ソーシャルビジネスと連帯しながら重石になっていく。労働者協同組合が社会を救う重要な担い手になる」と、エールをいただきました。

ワーカーズ・コレクティブで 一緒に働きませんか？

札幌市やその近郊には、34 団体のワーカーズ・コレクティブがあります。生活クラブ配送事業、デリバリーセンターでの組込み作業、在宅福祉・介護事業、お子さんの一時預かり、親子ひろば、小規模保育所、カフェや宅配の食事づくり、リサイクル店舗、編集など多岐にわたります。

まずは、連絡協議会へお問い合わせください。会員募集の事業所を紹介します。

詳しくは、こちら

起業カフェへどうぞ！

「これから何ができるか考えてみたい」「ワーカーズってなあに？」という方に向けて、カフェを開催します。カフェ開催日以外でも、電話での問い合わせや来所に対応いたします。お気軽にお立ち寄りください。参加無料。

開催日時

4/28
5/26
6/30
木曜日
14:00～16:00

会場 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会

プレゼント付き！ クイズ

石狩市のたすけあいワーカーズの名前は？（ヒントはＰ２－３）

① エルサ　② サルサ　③ マルサ

正解者の中から抽選で２名様に、『ワーカーズ・コレクティブ 労働者協同組合法を知る』をプレゼント！

応募方法 FAX またはメールで、名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締切りは、4月末日。

■発行 / 特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒 060-0041　札幌市中央区大通東２丁目 15-1 サラサビル４階 A 号室
☎ 011-596-0650　FAX 011-596-0651
Email　wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org
■発行責任 / 齊藤 佳代子　編集責任 / 理事会　制作 / プランズＥＰＯ
■年４回発行　年間購読料 / 1000 円

業 種	団体数
食	7
福祉	9
子育て	11
学童	2
業務請負	2
リサイクルと環境雑貨＆カフェ	1
編集・事務	1

1986 年に設立。34 団体約 500 名が加入しています。

特定非営利活動法人　北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会　機関紙

Wish【ウィッシュ】

私たちは「ワーカーズ・コレクティブ」で起業しています

ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域で必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方です。

No. 65
2022. 4【年４回発行】

わたしたちの地域シリーズ　第8回

地域とともに必要なサービスや しくみをつくるまち石狩

乳児から学童まで 広いまなざしで子育てを支える

interview　星野 ゆかりさん

子育て支援ワーカーズ　ぽけっとママ
石狩市花川南７条３丁目 47
TEL　090-8636-2004　〈2004 年設立・会員 10 名〉

ほしの ゆかり　大好きな「食べること 呑むこと」のために料理をすることで、生活をリセット♪

石狩市で、行政ともつながりながら子育て支援事業を展開する「ぽけっとママ」。地域の中で子どもたちの成長を見守る様子をお聞きしました。

ワーカーズとの出会い

栃木県で出産し、札幌で子育てをしてきた中で、ずいぶんたくさんの人に出会い、助けられ、温かな気持ちと感謝の想いを感じてきました。その後、転居した石狩市でファミリー・サポート・センターのサポート会員養成講座を受講。これまでの恩返しの気持ちから、会員となりセンターの運営団体である、ぽけっとママの活動に参加することになりました。ファミリー・サポート事業の受託に加え、ひとり親支援や放課後児童クラブ、親子カフェなど、多岐にわたる内容を目の当たりにして、乳幼児保育支援に留まっていないことに驚きました。

ひろばは、親子の安らぎの場

子育て支援への想い

入会後は、日々決まった仕事ではないため自分のペースがつかめず、戸惑いを感じることもありました。しかし、育児の大変さを経験していたこともあり、ママたちからの「助かりました！」「ありがとうございました！」の言葉にやりがいを感じるようになりました。また、親子の笑顔に触れる度、自分がしてもらったことへの恩返しができているような気持ちにもなり、嬉しくなります。関わる子どもたちが一生懸命にミルクを飲む様子、泣いたり、笑ったり、遊んだりするすべてに生きる力を感じ、元気をもらっています。

その一方で、日頃の生活の様子が見えずに子どもを預かることの難しさを感じることも。忙しい親御さんたちと、もっとじっくり向き合いたいとの思いが強くあります。代表として壁にぶつかることもありますが、そんな時は子育てを通して知った絵本のすばらしさや奥深さを思い出し、自分のために絵本を読んで穏やかな気持ちになっています。

ワーカーズという働き方

初めて出会ったワーカーズという働き方は、自分たちで考えて検討し、生み出す楽しさ、充実感、達成感がある反面、アンペイドワークの部分も多々あることが課題に思えます。

また、設立から 17 年が経ち、自らも子育て中だったメンバーが子育てを応援する側の年齢になった今、一緒に働く仲間を増やしたいと願っています。子育て世代の皆さんにワーカーズを知ってもらい、地域で子育て支援ができるよう、一緒に活動できたら良いと思います。新しい仲間が加わることで、自分たちにできることの幅が広がるのではないかと考えています。

【取材 / 泉・岡田】